



2023年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月12日

上場会社名 株式会社ウィッツ 上場取引所 東
 コード番号 4440 URL <https://www.witz-inc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 博行
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 脇田 周爾 TEL 052-220-1218
 四半期報告書提出予定日 2023年1月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2023年8月期第1四半期の連結業績（2022年9月1日～2022年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第1四半期	627	19.9	71	△2.8	78	1.9	55	10.7
2022年8月期第1四半期	522	9.9	73	108.8	76	104.9	50	106.4

(注) 包括利益 2023年8月期第1四半期 55百万円 (9.8%) 2022年8月期第1四半期 50百万円 (106.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第1四半期	13.29	13.27
2022年8月期第1四半期	12.03	11.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第1四半期	2,900	2,306	78.6
2022年8月期	2,855	2,295	79.5

(参考) 自己資本 2023年8月期第1四半期 2,280百万円 2022年8月期 2,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2023年8月期	—	—	—	—	—
2023年8月期（予想）	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	6.6	160	△32.4	190	△28.4	125	△28.9	29.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年 8 月期 1 Q	4,171,000株	2022年 8 月期	4,171,000株
----------------	------------	------------	------------

② 期末自己株式数

2023年 8 月期 1 Q	12,026株	2022年 8 月期	126株
----------------	---------	------------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年 8 月期 1 Q	4,169,145株	2022年 8 月期 1 Q	4,160,274株
----------------	------------	----------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、ワクチンの普及、感染防止策の徹底等により、新型コロナウイルス感染症の影響から回復に向けた動きを見せ、一定程度の経済活動は維持できる状況になったものの、変異株による感染再拡大に加え、ウクライナ侵攻や急速な円安等による、資源・エネルギー問題やインフレ等の新たな経済阻害要因も発生し、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下においても、当社グループの主軸である組込ソフトウェア開発の引き合いは高い需要を維持しており、自動車関連ソフトウェアの開発は好調に収益を伸ばしました。また、半導体不足やAI及びエッジ向け半導体工場の活況な設備投資、CASE（Connected, Autonomous, Shared & Services, Electric）に関連する開発などを背景にして、半導体関連のソフトウェア開発、シミュレーション技術の分野は、堅調に推移しました。

さらに、前第3四半期連結会計期間において株式会社スクデット・ソフトウェア（以下、「スクデット社」という。）を新たに連結子会社とした影響もあり、売上高は前年同期比増収となりました。

営業利益においては、売上高の増収の影響等により売上総利益が前年同期比で増益となったものの、新規事業の推進、事業の拡大、営業活動の強化などに向けた人員の増強や拠点の整備、スクデット社に係る販管費やのれん償却費の発生、人材確保に向けた採用関連コストの増加などにより、販管費も増加した結果、前年同期比減益となりました。

経常利益においては、営業利益が前年同期比で減益となったものの、主に助成金収入の増加により営業外収益が増加したため、前年同期比増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益においては、経常利益の増益に加え、法人税等の見積コストが減少したため、前年同期比増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高627,229千円（前年同期比19.9%増）、営業利益71,919千円（同2.8%減）、経常利益78,400千円（同1.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益55,395千円（同10.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間と前年同期の一方若しくは両方がマイナスの金額である場合または前年同期比増減率が1,000%以上となる場合は、前年同期比増減率の記載に代えて、前年同期額を記載しております。

1. ソフトウェア開発事業

当セグメントは、自動車・産業製品向けの制御ソフトウェアの受託、自動車関連のシミュレーション及びモデルベース開発技術の提案・開発・提供、近年の電子機器装置の安全性を担保するために必要なコンサルティング・安全性分析支援などを行っております。なお、連結子会社であるスクデット社は当セグメントに含めております。

経営成績の状況といたしましては、主力であります自動車関連ソフトウェアの開発の売上が大幅に伸びたことに加え、シミュレータ関連及び半導体関連のソフトウェア開発の売上が堅調に推移したため、売上高及びセグメント利益は前年同期比増収増益となりました。

この結果、売上高は604,540千円（前年同期比17.8%増）、セグメント利益（営業利益）は185,512千円（同12.7%増）となりました。

2. サービスデザイン事業

当セグメントにおいては、組込みシステム開発を通じて獲得した中核技術のノウハウを積極活用した新たな商品及びサービスの提供などを行っております。なお、連結子会社である株式会社イマジナリーは当セグメントに含めております。

経営成績の状況といたしましては、事業の開始から間もなく本格的な稼働に至っておりませんが、当第1四半期連結累計期間においては、一定程度の売上を確保し、セグメント利益は黒字となりました。

この結果、売上高は13,974千円（前年同期は333千円）、セグメント利益（営業利益）は1,790千円（前年同期は9,148千円のセグメント損失）となりました。

3. その他

当セグメントにおいては、株式会社アトリエ、株式会社ヴィッツ沖縄が含まれております。

経営成績の状況としましては、沖縄地域での人材確保や開発シフトが進み、自動車や産業機器の組込みソフトウェア関連の売上が増加したため、売上高は前年同期比増収となりました。一方で、高利益率である自律装置などの安全コンサルタント事業は、堅調な受注があるものの検収時期のタイミングの影響等により、売上が減少し利益を押し下げたため、セグメント利益は前年同期比減益となりました。

この結果、売上高は43,525千円（前年同期比8.9%増）、セグメント利益（営業利益）は4,793千円（同25.5%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、2,428,871千円（前期末比1.7%増）となりました。主な内訳は、現金及び預金1,882,282千円（同8.6%減）、受取手形、売掛金及び契約資産214,013千円（同5.8%増）、仕掛品79,958千円（同1.9%増）であります。

固定資産は、471,873千円（同1.2%増）となりました。主な内訳は、保険積立金151,978千円（同3.5%増）、のれん94,304千円（同2.6%減）、有形固定資産39,297千円（同5.9%減）であります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、2,900,744千円（同1.6%増）となりました。

（負債）

流動負債は、345,272千円（前期末比9.5%増）となりました。主な内訳は、賞与引当金53,250千円（同54.2%減）、買掛金36,931千円（同0.1%増）、未払法人税等26,214千円（同49.6%減）であります。

固定負債は、249,122千円（同2.0%増）となりました。主な内訳は、退職給付に係る負債155,532千円（同3.2%増）、長期未払金91,495千円（前期末同額）であります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、594,395千円（前期末比6.2%増）となりました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、2,306,349千円（前期末比0.5%増）となりました。主な内訳は、資本金611,561千円（前期末同額）、資本剰余金546,050千円（前期末同額）、利益剰余金1,134,709千円（前期末比2.0%増）であります。

（3）新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報

新型コロナウイルス感染症の影響により、新たな開発案件において計画縮小や中止、開始時期の延期などが発生する可能性があります。また、当社グループ内で感染者が確認された場合には開発リソースが不足する可能性があります。これらのリスクが顕在化した場合、当社グループの経営成績及び財政状態に悪影響を及ぼす可能性があります。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期の連結業績予想及び配当予想につきましては、2022年10月13日に公表いたしました予想からの変更はありません。なお、当該連結業績予想及び配当予想の数値につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,058,795	1,882,282
受取手形、売掛金及び契約資産	202,348	214,013
仕掛品	78,452	79,958
その他	49,687	252,616
流動資産合計	2,389,283	2,428,871
固定資産		
有形固定資産	41,751	39,297
無形固定資産		
のれん	96,853	94,304
その他	26,885	34,716
無形固定資産合計	123,738	129,021
投資その他の資産		
保険積立金	146,909	151,978
その他	153,701	151,575
投資その他の資産合計	300,611	303,554
固定資産合計	466,101	471,873
資産合計	2,855,385	2,900,744
負債の部		
流動負債		
買掛金	36,888	36,931
未払法人税等	52,010	26,214
賞与引当金	116,207	53,250
製品保証引当金	958	939
その他	109,145	227,936
流動負債合計	315,209	345,272
固定負債		
退職給付に係る負債	150,640	155,532
長期未払金	91,495	91,495
その他	2,094	2,094
固定負債合計	244,230	249,122
負債合計	559,440	594,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	611,561	611,561
資本剰余金	546,050	546,050
利益剰余金	1,112,681	1,134,709
自己株式	△325	△12,032
株主資本合計	2,269,968	2,280,289
非支配株主持分	25,975	26,059
純資産合計	2,295,944	2,306,349
負債純資産合計	2,855,385	2,900,744

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
売上高	522,922	627,229
売上原価	316,028	387,753
売上総利益	206,893	239,475
販売費及び一般管理費	132,898	167,556
営業利益	73,995	71,919
営業外収益		
補助金収入	—	1,901
助成金収入	1,355	3,976
保険解約返戻金	1,250	51
保険事務手数料	269	257
受取手数料	13	13
その他	51	407
営業外収益合計	2,940	6,607
営業外費用		
自己株式取得費用	—	97
支払利息	1	9
その他	—	20
営業外費用合計	1	126
経常利益	76,934	78,400
特別利益		
固定資産受贈益	539	—
特別利益合計	539	—
特別損失		
固定資産除却損	68	—
投資有価証券評価損	—	325
特別損失合計	68	325
税金等調整前四半期純利益	77,405	78,075
法人税等	26,470	22,153
四半期純利益	50,934	55,921
非支配株主に帰属する四半期純利益	891	526
親会社株主に帰属する四半期純利益	50,043	55,395

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
四半期純利益	50,934	55,921
四半期包括利益	50,934	55,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,043	55,395
非支配株主に係る四半期包括利益	891	526

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、時価算定会計基準適用指針の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2021年9月1日 至 2021年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	ソフトウェア 開発事業	サービス デザイン事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	513,263	333	513,597	9,325	522,922
内、請負契約	316,370	—	316,370	9,100	325,470
内、準委任契約	106,084	—	106,084	225	106,309
内、派遣契約	87,245	—	87,245	—	87,245
内、その他	3,563	333	3,896	—	3,896
外部顧客への売上高	513,263	333	513,597	9,325	522,922
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	30,631	30,631
計	513,263	333	513,597	39,956	553,553
セグメント利益又は損失(△)	164,612	△9,148	155,464	6,435	161,899

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社における研究事業の推進やソフトウェア開発の検証事業等であります。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

売上高	金額
報告セグメント計	513,597
「その他」の区分の売上高	39,956
セグメント間取引消去	△30,631
四半期連結損益計算書の売上高	522,922

利益	金額
報告セグメント計	155,464
「その他」の区分の利益	6,435
全社費用(注1)	△91,244
その他の調整額(注2)	3,340
四半期連結損益計算書の営業利益	73,995

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(注2) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2022年9月1日 至 2022年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	ソフトウェア 開発事業	サービス デザイン事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	604,540	13,974	618,514	8,715	627,229
内、請負契約	293,621	3,307	296,928	6,412	303,341
内、準委任契約	203,506	10,500	214,006	—	214,006
内、派遣契約	103,112	—	103,112	2,302	105,415
内、その他	4,299	166	4,466	—	4,466
外部顧客への売上高	604,540	13,974	618,514	8,715	627,229
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	34,810	34,810
計	604,540	13,974	618,514	43,525	662,040
セグメント利益	185,512	1,790	187,303	4,793	192,096

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社における研究事業の推進やソフトウェア開発の検証事業等であります。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

売上高	金額
報告セグメント計	618,514
「その他」の区分の売上高	43,525
セグメント間取引消去	△34,810
四半期連結損益計算書の売上高	627,229

利益	金額
報告セグメント計	187,303
「その他」の区分の利益	4,793
全社費用（注1）	△125,226
その他の調整額（注2）	5,050
四半期連結損益計算書の営業利益	71,919

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(注2) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。